

4-5 景観

平取ダム環境調査検討委員会では平取ダムを造ることにより、景観に何らかの影響があると考え、身近な景観として検討することとしている。

はじめに平取ダム周辺地区の心理的景観（地域）イメージを把握し、「平取地区らしさ」を取り入れた保全措置の基本方針の検討等に活用することを目的に、地域住民を対象としたアンケートやヒアリングを実施した。（表 4-5-1）

この調査によって得られた景観資源、主要及び身近な眺望点とダム堤体の可視領域から身近な景観における景観ベースマップを作成し、主要及び身近な眺望景観の絞り込みを行い、この身近な眺望景観について、影響を最小限とする保全対策を検討することとした。

4-5-1 調査結果の概要

(1) 調査の実施状況

1) 調査地点

主要及び身近な景観の調査地点は図 4-5-1 に示すとおりである。

2) 調査項目・調査時期

調査は、現地調査による情報収集及び情報の整理、解析とし、現地調査は写真撮影により行うものとした。

表 4-5-1 主要及び身近な眺望景観の調査時期

主要及び身近な眺望点	景観資源	調査期間
①すずらん群生地周辺	平取ダム上流右岸の崖地	春季:平成 16 年 6 月 4 日・5 日 夏季:平成 16 年 7 月 30 日・31 日 秋季:平成 15 年 10 月 26 日・27 日 冬季:平成 16 年 2 月 20 日・21 日
②道道芽生貫気別線	芽生地区の牧草地	
③豊糠小中学校 ^{※1}	平取ダム上流右岸の崖地	
④宿主別橋		
⑤豊糠橋		
⑥すずらん群生地内 ^{※2}		

※1 「③豊糠小中学校」は平成 19 年度末に廃校となった。

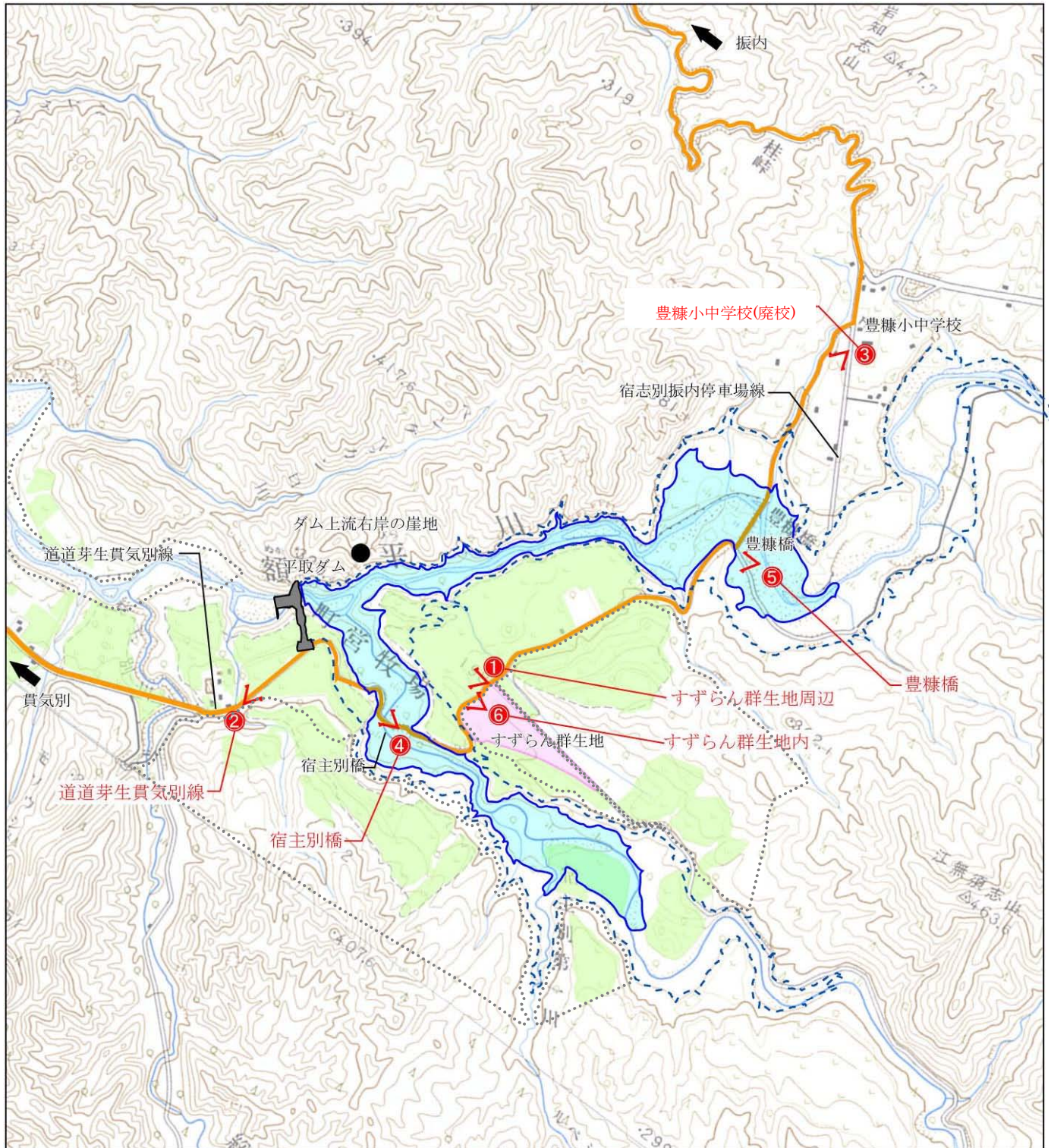
※2 「⑥すずらん群生地内」は一般開放時期の春季のみとする。

(2) 調査結果の概要

主要及び身近な眺望景観の状況を表 4-5-2 に示す。

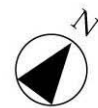
表 4-5-2 主要及び身近な眺望景観の状況

主要及び身近な眺望景観	主要及び身近な眺望景観の状況
すずらん群生地周辺から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む	写真①はすずらん群生地周辺から西方向の景観である。 すずらん群生地周辺には牧草地が広く分布し、所々に樹木が点在しているが、視界が遮られることなく平取ダム上流右岸の崖地を望める。
道道芽生貫気別線から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む	写真②は道道芽生貫気別線から北方向の景観である。 近景には周辺の牧草地が望め広々とした印象を受ける。また、河川沿いの連続した既存樹林が額平川の位置を示す見切り線の役割を果たしており、その背後には崖地を望むことができる。遠方には糠平等の日高山地中核部の縁辺に沿って広く分布する中起伏山地がなだらかなスカイラインを形成している。
豊糠小中学校から平取ダム上流右岸の崖地を望む	写真③は豊糠小中学校から南西方向の景観である。 豊糠地区に広く分布する連続した樹林地景観を形成している。
宿主別橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む	写真④は宿主別橋から西方向の景観である。 眼下には宿主別川の流軸景を望め、正面に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。
豊糠橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む	写真⑤は豊糠橋から南西方向の景観である。 眼下には緩やかに蛇行している額平川の流軸景を望み、正面奥に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。
すずらん群生地内から平取ダム上流右岸の崖地を望む	写真⑥はすずらん群生地内から西方向の景観である。 すずらん群生地内および周辺の牧草地内に樹木が点在しているが、視界が遮られることなく平取ダム上流右岸の崖地を望める。



凡例

- | | | | |
|--|----------------|--|--|
| | ダム堤体 | | 景観資源 |
| | 貯水予定区域 | | ダム上流右岸の崖地 |
| | 貯水予定区域 (常時満水位) | | すずらん群生地 |
| | 現況道路 (道道) | | 牧草地 |
| | 主要及び身近な眺望点 | | 重要文化的景観
「アイヌの伝統と近代開拓
による沙流川流域の文化的
景観」 |



1:30,000

0 500 1000m

図 4-5-1 調査地点

4-5-2 予測の結果

(1) 予測手法

1) 予測対象及び影響要因

予測対象とする主要及び身近な眺望点、景観資源、主要及び身近な眺望景観及び影響要因は「土地又は工作物の存在及び供用」とし、「改変の程度」と「景観の変化」に区分した。

表 4-5-3 予測対象とする主要及び身近な眺望点、景観資源、主要及び身近な眺望景観と影響要因

予測対象		影響要因	土地又は工作物の存在及び供用	
			<ul style="list-style-type: none"> ・ダム堤体の存在 ・橋梁、道路の存在 ・ダムの供用及び貯水池の存在 	
			改変の程度	景観の変化
		主要及び身近な眺望点・景観資源の改変の程度	主要及び身近な眺望点からの景観の変化	
主要及び身近な眺望点	すずらん群生地周辺		●	
	豊糠橋		●	
	道道芽生貫気別線		●	
	豊糠小中学校		●	
	宿主別橋		●	
	すずらん群生地内		●	
景観資源	ダム上流右岸の崖地		●	
	すずらん群生地		●	
	牧草地		●	
	重要文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」		●	
主要及び身近な眺望景観	すずらん群生地周辺から ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景			●
	豊糠橋から ダム上流右岸の崖地			●
	道道芽生貫気別線から ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景			●
	豊糠小中学校から ダム上流右岸の崖地			●
	宿主別橋から ダム上流右岸の崖地			●
	すずらん群生地内から ダム上流右岸の崖地			●

2) 予測の手法

主要及び身近な眺望景観は、フォトモンタージュにより景観の変化及び影響要因の視角の程度を予測した。なお、主要及び身近な眺望点のうち、対象事業の実施により影響（貯水池に水没する等）が認められる眺望景観については、参考としてダム供用後の眺望景観をCGにより予測するものとした。

表 4-5-4 眺望点ごとの予測手法

主要及び身近な眺望景観	予測手法	備 考
すずらん群生地周辺から ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景	フォトモンタージュ	フォトモンタージュ及びCGの作成においては、平取ダムの標準断面図を基に、堤長標高をE L. 190. 0m、貯水池の水位の標高を常時満水位のE L. 167. 4mとした。
道道芽生貫気別線から ダム上流右岸の崖地及び牧草地風景		
豊糠小中学校から ダム上流右岸の崖地 ^{※3}	CG	
宿主別橋から ダム上流右岸の崖地		
豊糠橋から ダム上流右岸の崖地		
すずらん群生地内から ダム上流右岸の崖地	フォトモンタージュ	

※3 ダム供用後も現状の眺望点は維持されるが、現状の樹林地等により景観変化を把握することが困難なため、CGを用いるものとした。

3) 予測対象時期等

予測対象時期等は、ダムの供用が定常状態であり、主要及び身近な眺望点、景観資源、主要及び身近な眺望景観に係る環境影響を的確に把握できる時期とした。

ダム堤体等が景観に及ぼす影響が最大となるのはダム完成直後と想定し、予測対象時期はダム完成直後かつ利用人数が最大となる初夏（すずらん鑑賞会時期の5月下旬～6月上旬）とした。

(2) 予測結果

1) 主要及び身近な眺望点

主要及び身近な眺望点と事業計画の重ね合わせた結果を図 4-5-2 に示す。宿主別橋、豊糠橋は対象事業の実施により改変（橋梁の架け替え）される。

2) 景観資源

景観資源と事業計画の重ね合わせた結果を図 4-5-2 に示す。平取ダム上流右岸の崖地及びすずらん群生地は、対象事業の実施による影響は想定されない。

また、牧草地風景の一部が、工事用道路、貯水池により水没するが、全体の分布に対して改変の程度がわずかであり、影響は小さいと想定される。

3) 主要及び身近な眺望景観

主要及び身近な眺望点からの現況及びダム供用後の景観を以下に示す。

① すずらん群生地周辺から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む

i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点①の現況写真

すずらん群生地周辺から西方向の景観である。すずらん群生地周辺には牧草地が広く分布し、所々に樹木が点在しているが、視界が遮られることなく平取ダム上流右岸の崖地を望める。

ii) 供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点①の供用後（フォトモンタージュ）

平取ダム上流右岸の崖地に切土法面が出現する。また、額平川、宿主別川の河畔林は残されるため、ダム堤体、貯水池の存在は確認できない。平取ダム堤体右岸の切土法面により現状の斜面樹林が消失し、眺望景観の変化が生じると予測される。

② 道道芽生貫気別線から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む

i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点②の現況写真

道道芽生貫気別線から北方向の景観である。近景には周辺の牧草地が望め広々とした印象を受ける。また、河川沿いの連続した既存樹林が額平川の位置を示す見切り線の役割を果たしており、その背後には崖地を望むことができる。遠方には糠平山等の日高山地中核部の縁辺に沿って広く分布する中起伏山地がなだらかなスカイラインを形成している。

ii) 供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点②の供用後（フォトモンタージュ）

平取ダム上流右岸の崖地の麓から牧草地を横断するダム堤体と切土法面が出現する。ダム堤体は背景の稜線に収まり、スカイラインに変化が見られないが、水平方向の直線的な堤体の存在及び切土法面の存在により、眺望景観の変化が生じると予測される。

③ 豊糠小中学校から平取ダム上流右岸の崖地を望む

i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点③の現況写真

当該地からは、景観資源および対象事業の実施によるダム堤体、貯水池等は確認できない。

④ 宿主別橋からダム上流右岸の崖地を望む【参 考】

i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点④の現況写真

宿主別橋から西方向の景観である。眼下には宿主別川の流軸景を望め、正面に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。

ii) 供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点④の供用後（CG）

供用後の宿主別橋からの眺望景観は、現況高さから約40m高くなり、ダム堤体と貯水池を一望する奥行きのある眺望景観となる。平取ダム上流右岸の崖地の麓から牧草池を横断するダム堤体は背景の稜線内に収まり、スカイラインに変化は見られない。

⑤ 豊糠橋から平取ダム上流右岸の崖地を望む【参 考】

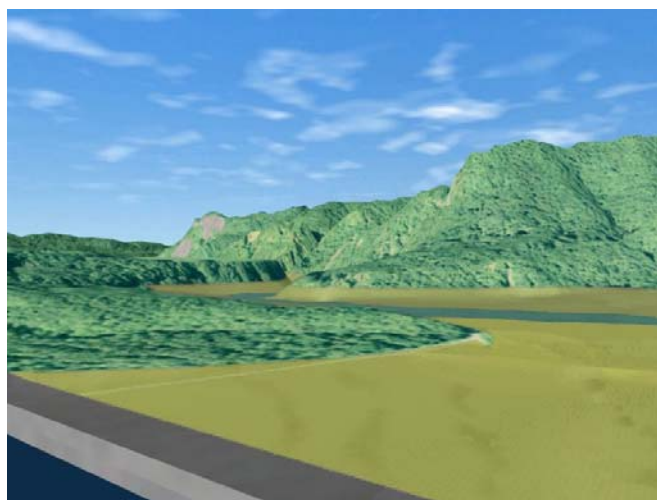
i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点⑤の現況写真

豊糠橋から南西方向の景観である。眼下には緩やかに蛇行している額平川の流軸景を望み、正面奥に平取ダム上流右岸の崖地を望むことができる。

ii) 供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点⑤の供用後（CG）

供用後の豊糠橋は、現況高さから約30m高くなり、正面に連続する平取ダム上流右岸の崖地を望み、眼下一面に水面が広がる眺望景観となる。豊糠橋からダム堤体の存在を確認することはできない。

⑥ すずらん群生地内から平取ダム上流右岸の崖地を望む

i) 現況の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点⑥の現況写真

すずらん群生地内から西方向の景観である。すずらん群生地内および周辺の牧草地内に樹木が点在しているが、視界が遮られることなく平取ダム上流右岸の崖地を望める。

ii) 供用後の主要及び身近な眺望景観の状況



主要及び身近な眺望点⑥の供用後（フォトモンタージュ）

道道芽生貫気別線の付け替えにより、盛土法面が出現する。平取ダム上流右岸の崖地を望むことはできるが、直線的な盛土法面の存在により、眺望景観の変化が生じると予測される。

4-5-3 環境保全措置の検討

環境保全措置は、予測結果を踏まえ、環境影響が想定されない又は小さいと判断される場合以外に検討した。なお、効果検証のため継続してモニタリングを行うこととする。

(1) 検討項目

予測結果より、「すずらん群生地周辺からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景」「道道芽生貫気別線からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景」「宿主別橋からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景」「すずらん群生地内からダム上流右岸の崖地」について、土地又は工作物の存在及び供用により、眺望景觀に影響があると想定された。

表 4-5-5 環境保全措置を検討した項目

	主要及び身近な眺望点	影響要因	検討項目
①	すずらん群生地周辺からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景	ダム堤体右岸の切土法面	●
②	道道芽生貫気別線からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景	ダム堤体 ダム堤体右岸の切土法面	●
③	豊糠小中学校からダム上流右岸の崖地	—	—
④	宿主別橋からダム上流右岸の崖地（参考）	ダム堤体 ダム堤体右岸の切土法面	●
⑤	豊糠橋からダム上流右岸の崖地（参考）	—	—
⑥	すずらん群生地内からダム上流右岸の崖地	付替道路	●

●：影響が想定されない又は小さいと判断される場合以外に該当するため、環境保全措置（案）の例を示す。
 —：影響が想定されない又は小さいと判断されるため、環境保全措置（案）の検討を行わない。

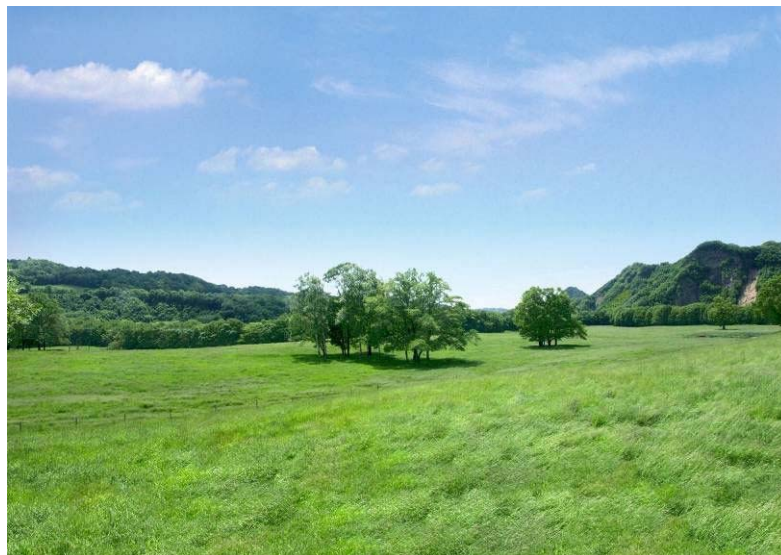
(2) 検討結果

環境保全措置の検討結果を表 4-5-6～9 に示す。

① すずらん群生地周辺から平取ダム上流右岸の崖地及び芽生地区の牧草地風景を望む

表 4-5-6 環境保全措置の検討結果 ①

項 目	主要及び身近な眺望景観 ①すずらん群生地周辺からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景
環境影響	ダム堤体右岸の切土法面によりダム上流右岸の崖地及び牧草地風景を望む景観に変化が生ずる。
環境保全措置の方針	ダム堤体右岸の切土法面への植生の復元により、周辺景観との調和を図る。
環境保全措置案	緑化対策を実施し、修景化する



環境保全措置①のフォトモンタージュ

② 道道芽生貫気別線からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景を望む

表 4-5-7 環境保全措置の検討結果 ②

項 目	主要及び身近な眺望景観 ②道道芽生貫気別線からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景		
環境影響	ダム堤体、ダム堤体右岸の切土法面及び付替道路により道道芽生貫気別線からダム上流右岸の崖地及び牧草地風景を望む景観に変化が生ずる。		
環境保全措置の方針	a) 案 切土法面と周辺景観の調和を図る	b) 案 堤体の目隠しをする	c) 案 盛土法面及び車両用防護柵と周辺景観の調和及び景観の眺望に配慮する
環境保全措置案	緑化対策を実施し、修景化する	堤体下流前面への盛土	盛土法面への緑化対策とガードケーブルの採用

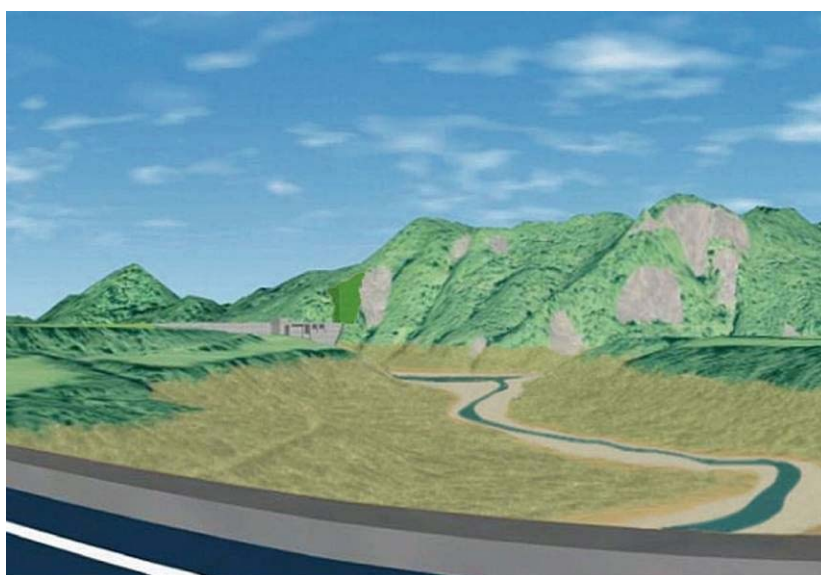


環境保全措置②のフォトモンタージュ

④ 宿主別橋からダム上流右岸の崖地を望む

表 4-5-8 環境保全措置の検討結果 ④

項 目	主要及び身近な眺望景観 ④宿主別橋からダム上流右岸の崖地
環境影響	供用後の宿主別橋からの眺望景観は、現況高さから約 40m 高くなり、ダム堤体と貯水池を一望する眺望景観となる。回避・低減すべき環境影響は、堤体右岸の切土法面が考えられる。
環境保全措置の方針	ダム堤体右岸の切土法面への植生の復元により、周辺景観との調和を図る。
環境保全措置案	緑化対策を実施し、修景化する

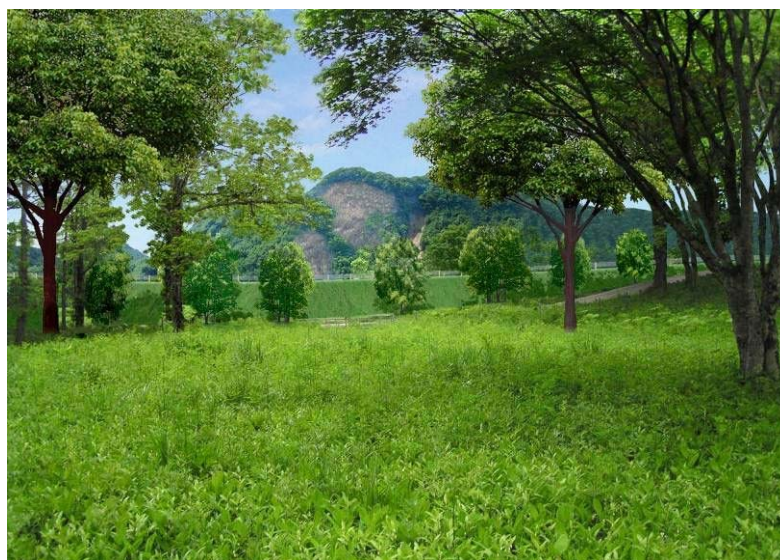


環境保全措置④のCG

⑥ すずらん群生地内から平取ダム上流右岸の崖地を望む

表 4-5-9 環境保全措置の検討結果 ⑥

項 目	主要及び身近な眺望景観 ⑥すずらん群生地内からダム上流右岸の崖地	
環境影響	付替道路によりすずらん群生地内からダム上流右岸を望む景観に変化が生ずる。	
環境保全措置の方針	a) 案 盛土法面及び車両用防護柵と周辺景観の調和を図る	b) 案 盛土法面の目隠しをする
環境保全措置案	盛土法面への緑化対策とガードケーブルの採用	落葉広葉樹の植栽 (周辺の樹種を選定)



環境保全措置⑥のフォトモンタージュ

